



双葉ヶ丘だより

令和5年度1月号

八田中学校
Tel 0773-44-0024

八田中学校の「校風」

- ☆ 元気にあいさつ
- ☆ まじめに頑張る
- ☆ 一丸になる

1年のはじまり

世界各地で、人々が爆発音や銃声に震えおののく中、年が改まりました。今年は穏やかな1年でありたいと願うのつつかの間、自然災害や大事故の報道に心を痛める日々が続いています。被災地にご家族や親戚、知人のおられる方、そしてご家族が現地に支援に向かわれた方などおられることでしょう。安全に1日も早い復興が進むことをお祈りします。

年始の朝日新聞記事より

2024年辰年。世界の情勢を考えてのことか、「未来に向けての希望」を書いた記事が目につきました。中でも元アナウンサーの青山愛さん(35)の記事は、子どもたちに紹介したい考え方が幾つか含まれていました。

私が覚えている青山さんは、ヘッドマイクをつけテレビ画面の中で気象情報を伝えていました。最近姿を見なくなりましたが、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) で働き、現在はユネスコで活躍しているとのこと。国連で働こう! と28歳でテレビ局を退社したそうです。青山さんは、京都大学経済学部卒、ジョージタウン外交大学院卒です。子ども時代はアメリカで過ごし、英語はペラペラ。私たちと育った環境が違う・・・と言わずに、以下のインタビューを自分なりに解釈してみてください。

◇大事にしている言葉は、

「自分にはできないと思うことに挑戦しなさい」

「いつかなんて、信じない」(今、行動しないと)

◇この先の生き方は、

「私の軸にあるのは、スポットライトの当たらない人たちの思いや声を伝えること。人々が平和に自分らしく生きられる社会を作ることに携わりつづけたい」

対話・言葉・主体性

地球上では、災害などで命を失うことがある一方で、命を奪い合う行為を繰り返す人もいます。悲しいことに世界の紛争は2010年を境に増加に転じ、187に達しており、過去最多の1億1400万人が紛争や人権侵害で避難を強いられています。青山さんのようにはできなくても、自分なりに平和な社会の実現に貢献できるのではないのでしょうか。ドイツ在住の作家多和田葉子さんも、紙上で次のように述べておられます。

「長く生きていく中で大事なものは、満足を感じられるかどうか。自分が他の人に与えながら満足できるかが大切になってくる」と。

辰すなわち龍のごとく、高いところから広く眺め、他者へ思いを馳せることのできる人であってほしい。授かった命を人のためにも使える人であってほしい。多和田さんはこうも述べている。**厳しい現実を前に進める鍵は「言葉」だと。**本年は更に授業や行事で対話をとおして主体性を伸ばす教育を展開していきます。保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 小林 孝伊

1月の学校行事

9	火	始業式
24	水	3年生学年末テスト(26日まで)
25	木	入学生説明会 PTA 本部役員会(新)
29	月	避難訓練(不審者)

2月の学校行事

1	木	あいさつの日
10	土	私立高校入試
15	木	公立高校前期選抜 PTA本部役員会
17	土	人推協人権教育講演会
22	木	PTA 合同委員会(総括)
28	水	PI, 2年生学年末7テスト(3/1まで)

3月の主な行事

1	金	1, 2年学年末テスト
7	木	公立高校中期選抜
13	水	3年生を送る会
15	金	第77回卒業証書授与式
18	月	中期選抜合格発表
22	金	修了・進級式

※行事予定については変更する場合があります

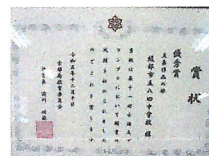
クリスマスコンサート



12月22日に吹奏楽部が恒例のクリスマスコンサートを音楽室で行いました。吹奏楽部の生徒は少人数ながら大勢の前で心の温まる曲を披露しました。

第11回小論文グランプリ 文集作品の部 優秀賞

京都府教育委員会主催の小論文グランプリにおいて3年生の作品が文集作品の部で優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。



学校のHPを開設しています。行事や連絡事項の確認にご活用ください。

